

No1	No2	No3	No4	場所	場所	碑	作者
1	1	1	1	日浦	河中町両新田神社	脇起附勝歌仙「十三夜」の巻松永静雨捌 日浦	
2	1	1	2	日浦	河中町両新田神社	相逢うて酔を覚えず十三夜 日浦	宇田零雨
3	1	1	3	日浦	河中町両新田神社	いつしかに通ふ想ひに涙くみ 日浦	岡本眸
4	1	1	4	日浦	河中町両新田神社	今なほ虫の残る草蓆 日浦	松永静雨
5	1	1	5	日浦	河中町両新田神社	ウインドウに毛皮ここだく飾られて 日浦	中村通仙
6	1	1	6	日浦	河中町両新田神社	埋火かきつ顔ふひととき 日浦	砂田富士江
7	1	1	7	日浦	河中町両新田神社	絵手紙を胸にしまへば暖く 日浦	山田久栄
8	1	1	8	日浦	河中町両新田神社	戦き仰ぐ白き夕顔 日浦	中野かずえ
9	1	1	9	日浦	河中町両新田神社	開通の祝ひに花も咲き初めし 日浦	井上和久
10	1	1	10	日浦	河中町両新田神社	各国に核廃絶の声満ちて 日浦	石丸隼子
11	1	1	11	日浦	河中町両新田神社	髪の流れが妙に気になる 日浦	永井甫生
12	1	1	12	日浦	河中町両新田神社	亀鳴く池にしばし佇む 日浦	金白水
13	1	1	13	日浦	河中町両新田神社	環境の保護がテーマの博士号 日浦	戒能多喜
14	1	1	14	日浦	河中町両新田神社	記念に買ひし時計寶石 日浦	宇野信子
15	1	1	15	日浦	河中町両新田神社	春愁誘ふ遠き思い出 日浦	武知千代
16	1	1	16	日浦	河中町両新田神社	知る人ぞ知る風狂の人作ら 日浦	桑原光子
17	1	1	17	日浦	河中町両新田神社	持病かかえてしぐれ降る街 日浦	松田綿恵
18	1	1	18	日浦	河中町両新田神社	「それでなもし」と長き前おき 日浦	松永不動
19	1	1	19	日浦	河中町両新田神社	大正のロマン秘めたる華宵館 日浦	長戸弥香
20	1	1	20	日浦	河中町両新田神社	散る花に祖谷の吊橋ゆらゆらと 日浦	井上弥生
21	1	1	21	日浦	河中町両新田神社	月淡き万葉園の涼しさに 日浦	寺岡情雨
22	1	1	22	日浦	河中町両新田神社	転勤の縁今ひとつで操られ 日浦	三浦澄子
23	1	1	23	日浦	河中町両新田神社	所々に建ちしいしづみ 日浦	伊達由紀子
24	1	1	24	日浦	河中町両新田神社	土用波寄すコンテナの基地 日浦	渡部晃女
25	1	1	25	日浦	河中町両新田神社	百年の老舗を仕切る幼な妻 日浦	前原四月
26	1	1	26	日浦	河中町両新田神社	評判高き客のあつかひ 日浦	永井規桐
27	1	1	27	日浦	河中町両新田神社	北歐は犬も人なみメロン食べ 日浦	鎌田隆
28	1	1	28	日浦	河中町両新田神社	ポケットベルで交はす約束 日浦	浅川一重
29	1	1	29	日浦	河中町両新田神社	祭太鼓の響く豊作 日浦	永井桃泉
30	1	1	30	日浦	河中町両新田神社	マルチメディアの進む此の頃 日浦	藤本尚枝
31	1	1	31	日浦	河中町両新田神社	無党派などとそれは冗談 日浦	浮田久美子
32	1	1	32	日浦	河中町両新田神社	目を細めつつ孫とお散歩 日浦	神尾千津子
33	1	1	33	日浦	河中町両新田神社	木犀のむせふはかりに匂ひきて 日浦	杉浦朝子
34	1	1	34	日浦	河中町両新田神社	遊学の地に一途なる恋 日浦	松末竹籟
35	1	1	35	日浦	河中町両新田神社	悠久の月に抱かるころよき 日浦	大月西女
36	1	1	36	日浦	河中町両新田神社	雪晴れて忌を修したる安らぎに 日浦	永井政子
37	1	1	37	日浦	河中町両新田神社	濃々と水澄みまさる豆腐桶 日浦	大西素之
38	1	2	38	日浦	藤野町円福寺	山寺太刀をいたしく時雨哉 日浦	夏目漱石
39	2	1	1	五明	菅沢町菅沢集会所	葦立や五明という古き里 五明	富田狸通
40	3	1	1	伊台	松山市山田町妙清寺	感無量まだ生きて居て子規祭る 伊台	柳原極堂
41	3	2	2	伊台	下伊台町西法寺山門横	薄墨の繪旨かきこき桜可奈 伊台	柳原極堂
42	3	2	3	伊台	下伊台町西法寺	振り返りみる故里の山粧う 伊台	中野立城
43	3	2	4	伊台	下伊台町西法寺	観音の丘へ涼しき樹下の径 伊台	中山梟
44	4	1	1	湯山	食場町管鷺神社	神の村聞きたき蟬と太鼓の音 湯山	三好清川
45	4	2	2	湯山	溝辺町天理教教会分教会	湯の山や炭賣かへる宵月夜 湯山	正岡子規
46	5	1	1	桑原	東野四丁目構内お茶屋跡	閑古鳥竹のお茶屋仁人も奈し 桑原	正岡子規
47	5	1	2	桑原	東野四丁目構内お茶屋跡	ふるさとこの松伐るな竹切るな 桑原	高浜虚子
48	6	1	1	道後	石手二丁目石手寺	歌仙「夏行寺」の巻渡部仲居捌 道後	
49	6	1	2	道後	石手二丁目石手寺	愛と和の満ち溢れたる花筵 道後	伊達由紀
50	6	1	3	道後	石手二丁目石手寺	あたり鎮めて降り積もる雪 道後	井ノロカズ子
51	6	1	4	道後	石手二丁目石手寺	ロボットを試作は天衣無縫にて 道後	井上弥生
52	6	1	5	道後	石手二丁目石手寺	以志不ミ乃石耳降込時雨か奈 道後	宇都宮丹精
53	6	1	6	道後	石手二丁目石手寺	老松に積もれる雪へ望の月 道後	宇都宮柏葉
54	6	1	7	道後	石手二丁目石手寺	科学者の粋を集めし宇宙基地 道後	宇都宮國子
55	6	1	8	道後	石手二丁目石手寺	智恵子の恋に似たるロマンス 道後	永井政子
56	6	1	9	道後	石手二丁目石手寺	広き干瀬を漁る青鯊 道後	横田幸子
57	6	1	10	道後	石手二丁目石手寺	仕合せの鐘乃わたりて去年今年 道後	岡崎路庵
58	6	1	11	道後	石手二丁目石手寺	故郷捨て旅立つ海に跳ねる鱈 道後	岡村彰
59	6	1	12	道後	石手二丁目石手寺	春を偲ぶにぎたつの道 道後	岡田伊勢子
60	6	1	13	道後	石手二丁目石手寺	若き菊師は英語流暢 道後	岡部紀美子
61	6	1	14	道後	石手二丁目石手寺	友好の花は世界に和をひろめ 道後	岡本眸
62	6	1	15	道後	石手二丁目石手寺	おめでた近き雅子妃殿下 道後	荻山玲幸
63	6	1	16	道後	石手二丁目石手寺	寒稽古にと誘ふ若人 道後	加藤祐子
64	6	1	17	道後	石手二丁目石手寺	ITは無縁と自我を張り通し 道後	河野夏彦
65	6	1	18	道後	石手二丁目石手寺	散る花に黄蝶白蝶戯れて 道後	戒能多喜
66	6	1	19	道後	石手二丁目石手寺	花はいさ鐘つかりけり石手寺 道後	関谷嘶風
67	6	1	20	道後	石手二丁目石手寺	深まり続く日韓の溝 道後	岩田信子
68	6	1	21	道後	石手二丁目石手寺	夕月を遙かに友と仰ぎつつ 道後	紀伊郁子
69	6	1	22	道後	石手二丁目石手寺	水狂言のここが見どころ 道後	菊野暁子
70	6	1	23	道後	石手二丁目石手寺	ダウ平均を嘆くこのごろ 道後	吉金白水
71	6	1	24	道後	石手二丁目石手寺	経堂を片手拝みや辰り梅雨 道後	久保田一秋
72	6	1	25	道後	石手二丁目石手寺	ピエロの芸にはずむ投げ銭 道後	宮島正
73	6	1	26	道後	石手二丁目石手寺	テッサンの線のびやかに走りをり 道後	向井由利子
74	6	1	27	道後	石手二丁目石手寺	何事毛改ま里行時鐘阿良之君尔飛登し幾人者安楽壽ハ 道後	広瀬祝溪
75	6	1	28	道後	石手二丁目石手寺	羽化登仙は夢のまた夢 道後	高橋和子
76	6	1	29	道後	石手二丁目石手寺	基敵は月を愛でつつ門を出づ 道後	高瀬照幸
77	6	1	30	道後	石手二丁目石手寺	猫を羊に恋へるマジシャン 道後	高村美佐子
78	6	1	31	道後	石手二丁目石手寺	お城祭の太鼓のどけき 道後	高田テル
79	6	1	32	道後	石手二丁目石手寺	いまだ癒えざる地震のトラウマ 道後	高木潤

80	6	1	33	道後	石手二丁目石手寺	節くれし父の手太き文化の日 道後	佐伯のぶ
81	6	1	34	道後	石手二丁目石手寺	透明に光るメダカは謎を秘め 道後	三浦淳子
82	6	1	35	道後	石手二丁目石手寺	鎧兜におよぶ春光 道後	山口博三
83	6	1	36	道後	石手二丁目石手寺	皎々と月澄み渡る新世紀 道後	山田久栄
84	6	1	37	道後	石手二丁目石手寺	未来に夢をふくらます昇等 道後	山田昭子
85	6	1	38	道後	石手二丁目石手寺	森羅万象雨はしづかに 道後	山内豊美
86	6	1	39	道後	石手二丁目石手寺	いのち惜しみつ春を奏ぐ 道後	寺岡情雨
87	6	1	40	道後	石手二丁目石手寺	葉櫻の中の無数の空さわぐ 道後	篠原梵
88	6	1	41	道後	石手二丁目石手寺	彼は誰となれば涼しき月の光ぐ 道後	小倉静波
89	6	1	42	道後	石手二丁目石手寺	より添ひて相合傘のどこまでも 道後	小池郁子
90	6	1	43	道後	石手二丁目石手寺	香煙に塔より高し初大師 道後	松永静雨
91	6	1	44	道後	石手二丁目石手寺	沙羅雲れつぐ広き前庭 道後	松崎伸夫
92	6	1	45	道後	石手二丁目石手寺	宇智と利?波奈以礼佐久辰牟津波几 道後	松尾芭蕉
93	6	1	46	道後	石手二丁目石手寺	子等にせがまれ鮪を振舞う 道後	森教子
94	6	1	47	道後	石手二丁目石手寺	執念のがつきとからみ葛枯れたり 道後	神尾静光
95	6	1	48	道後	石手二丁目石手寺	念願の旅が命と爽やかに 道後	神尾千津子
96	6	1	49	道後	石手二丁目石手寺	フルートのしらべ次第に整ひて 道後	菅野茂美
97	6	1	50	道後	石手二丁目石手寺	身の上や御鬮を引け秋の風 道後	正岡子規
98	6	1	51	道後	石手二丁目石手寺	窯跡に呉須の陶片拾ひあて 道後	青野竜斗
99	6	1	52	道後	石手二丁目石手寺	待望の豊胸術は見事に 道後	石丸静子
100	6	1	53	道後	石手二丁目石手寺	長男は家業受け継ぐ意思もなく 道後	石丸静月
101	6	1	54	道後	石手二丁目石手寺	釣釜はかすかに揺れて柄杓置く 道後	川嶋七重
102	6	1	55	道後	石手二丁目石手寺	誰もが称ふ金賞の菊 道後	前原四月
103	6	1	56	道後	石手二丁目石手寺	告白もメールでならばすらすらと 道後	曾我部登志子
104	6	1	57	道後	石手二丁目石手寺	待宵のからくり時計せり上がる 道後	大西素之
105	6	1	58	道後	石手二丁目石手寺	稲架あちこちに赤芒の米 道後	大西八重
106	6	1	59	道後	石手二丁目石手寺	観月や幾千代までも幸福ふ大和名出志古菊花の供養 道後	拓盛
107	6	1	60	道後	石手二丁目石手寺	池の面をうめ晴さんと飛花落花 道後	池川口谷
108	6	1	61	道後	石手二丁目石手寺	名香きけは心晴れゆく 道後	池川水穂
109	6	1	62	道後	石手二丁目石手寺	闘牛の四股ふみしめて角を下げ 道後	中村道仙
110	6	1	63	道後	石手二丁目石手寺	引き揚げはまたも遅れしえひめ丸 道後	中島真子
111	6	1	64	道後	石手二丁目石手寺	里訛にて啼ける鶯 道後	長戸弥口
112	6	1	65	道後	石手二丁目石手寺	人の真似上手なロボを開発し 道後	田中春紅
113	6	1	66	道後	石手二丁目石手寺	夏行寺平家の無常説かれをり 道後	渡部仲居
114	6	1	67	道後	石手二丁目石手寺	凍傷押して綴る自分史 道後	渡部北京
115	6	1	68	道後	石手二丁目石手寺	好きで逢へない想ひせつなく 道後	土居栗
116	6	1	69	道後	石手二丁目石手寺	あれもよし此も等とは阿呆かいな 道後	島本翠
117	6	1	70	道後	石手二丁目石手寺	訳も分らず拗ねて甘える 道後	藤原十重
118	6	1	71	道後	石手二丁目石手寺	山と山結びてかかる淡き虹 道後	藤田節子
119	6	1	72	道後	石手二丁目石手寺	失業率は戦後最悪 道後	藤本尚枝
120	6	1	73	道後	石手二丁目石手寺	黄昏待ちて開く小宴 道後	樋治子
121	6	1	74	道後	石手二丁目石手寺	ちちろ鳴きつく産土の杜 道後	樋口史子
122	6	1	75	道後	石手二丁目石手寺	石据える手に来て蟻が喰ひさがる 道後	尾崎行信
123	6	1	76	道後	石手二丁目石手寺	キャッチフレーズのみの公約 道後	百合田紀子
124	6	1	77	道後	石手二丁目石手寺	着メロにときめく胸を抑へかね 道後	浮田久美
125	6	1	78	道後	石手二丁目石手寺	流る水の水音が非ずや 道後	武知千代
126	6	1	79	道後	石手二丁目石手寺	甘き地酒を含み続けん 道後	武智美紀
127	6	1	80	道後	石手二丁目石手寺	やらねばならぬ国の改革 道後	武智美樹
128	6	1	81	道後	石手二丁目石手寺	匿されて捜しあぐる盗み酒 道後	福井泰子
129	6	1	82	道後	石手二丁目石手寺	物の怪も息をひそめるそぞろ寒 道後	名本敦子
130	6	1	83	道後	石手二丁目石手寺	挨拶も抜きて加はる焚火の輪 道後	毛利美子
131	6	1	84	道後	石手二丁目石手寺	履いて弾める新しき靴 道後	立花千代満
132	6	1	85	道後	石手二丁目石手寺参道	鎌倉のむかしを今に寺の鐘 道後	前田伍健
133	6	1	86	道後	石手二丁目石手寺参道	南無大師石手の寺よ稲の花 道後	正岡子規
134	6	1	87	道後	石手二丁目石手寺	葉櫻の中の無数の空さわぐ 道後	篠原梵
135	6	1	88	道後	石手二丁目石手寺	身の上や御鬮を引け秋の風 道後	正岡子規
136	6	1	89	道後	石手二丁目石手寺	祭芭蕉翁冢(表)宇知与利て波奈以礼佐久辰牟津波几(裏)	松尾芭蕉
137	6	1	90	道後	石手三丁目石手陶苑前	見違かす松山城や寺の秋 道後	原田則人
138	6	1	91	道後	石手三丁目石手陶苑前	麗らかや平和の碑塚とこしへに 道後	門屋春風
139	6	1	92	道後	石手二丁目石手寺入口福助堂	やま古くえて一人由希登主の手ニす加れる身ハ安介志 道後	西村清雄
140	6	1	93	道後	石手二丁目石手寺	花はいさ鐘つかりけり石手寺 道後	関谷嘶風
141	6	1	94	道後	石手二丁目石手寺	石据える手に来て蟻が喰ひさがる 道後	尾崎行信
142	6	1	95	道後	石手二丁目石手寺	うれしい古ともかなしい古とも草しける 道後	種田山頭火
143	6	1	96	道後	石手二丁目石手寺	撞きす天し鐘の余韻乃桜可那	や馬白陽
144	6	1	97	道後	石手二丁目石手寺	石手寺の松を拝みて年ふ	宇田雲雨
145	6	1	98	道後	石手二丁目石手寺	御佛の瞳は慈悲に輝きて悩みと罪の子等に微笑む	重松俊章
146	6	1	99	道後	石手二丁目石手寺	故郷の山に御霊よ帰りませ永久奈る平和を共に祈らむ	藤井徳二郎
147	6	1	100	道後	石手二丁目石手寺	伊豫の秋石手の寺の香盤に海のいろして立つ煙かな	与謝野晶子
148	6	1	101	道後	石手二丁目石手寺	石手寺や平和観音おはします香の煙は御山め久りて	与謝野晶子
149	6	1	102	道後	石手二丁目石手寺	一山の堂塔高さ大夕立	富田狸通
150	6	2	103	道後	持田町一丁目愛媛大学附属中学校	ここに存在せし青春、友情、希望一切のものの不滅を信ず	中村草田男
151	6	3	104	道後	石手一丁目岩塚公園	鮎寄せの堰音涼し寶川 道後	酒井敦禪
152	6	4	105	道後	常光寺町風土記の丘	薫風や風土記の丘を断て尚 道後	富田狸通
153	6	5	106	道後	石手五丁目井源三郎	柿み天も美かんを見て毛涙可那 道後	御手洗不迷
154	6	6	107	道後	道後公園湯釜薬師上	温泉をむす不誓い毛同之石清水 道後	松尾芭蕉
155	6	6	108	道後	道後公園道後公園南口	元日や一系の天子不二の山 道後	内藤鳴雪
156	6	6	109	道後	道後公園道後公園北口	半鐘と並んで高き冬木哉 道後	夏目漱石
157	6	6	110	道後	道後公園道後公園北口	布ゆ枯や鏡うつる雲の影 道後	正岡子規
158	6	6	111	道後	道後公園道後公園北口	寝ころんで蝶泊らせる外湯哉 道後	小林一茶
159	6	7	112	道後	道後公園市立子規記念博物館	足なへの病ゆとふ伊豫の湯に飛びても行かな驚にあらませば	正岡子規

160	6	8	113	道後	道後姫塚義安寺	このぼたる田ごとの月をくらべ見ん	松尾芭蕉
161	6	9	114	道後	道後姫塚武道館前平和記念公園	悲しみを忘連てわ多る太平洋平和能繋支むね耳ひ素め天 道	加川豊彦
162	6	9	115	道後	道後姫塚武道館前平和記念公園	世に媚びず人に語らず我は我が正しと思ふ道を進まん 道後	水野廣徳
163	7	1	1	湯築	道後湯月町五一四宝蔵寺	子規忌過ぎ一遍忌過ぎ月は秋 湯築	酒井黙禪
166	7	1	2	湯築	道後湯月町五一四宝蔵寺	色里や十歩者なれて秋の風 湯築	正岡子規
164	7	1	3	湯築	道後湯月町五一四宝蔵寺	旅衣木乃衾可やのねい徒具于閑身能すてら禮ぬところあるへ 幾 湯築	一遍上人
165	7	1	4	湯築	道後湯月町五一四宝蔵寺	夕陽無限好糞掃衣すその短くふるしも臍もあらはにわらんちも 穿かぬ素足は國々の道の長手能土をふみ石をふみ来てにしみ たる血さへ見ゆかゝりたましく頬こけおちておとかひもしやくれ尖 るを眉者長く目見の静けたくひなき敬虔をもて合せたる掌のさ きより者光さへ放つと見ゆれ伊豫の国伊佐庭の山乃み湯に来て 為すこともなく日をかさね吾者遊ぶをこ能郷尔生れな可らもこ能 み湯入るひまなく西へ行き東へ往きて念佛もて權化したまふ みすかたをここに残せる一遍上人 湯築	川田順
167	7	1	5	湯築	道後湯月町五一四宝蔵寺	あかあかと一本の道通りたり霊剱るわが命なりけり	齋藤茂吉
168	7	2	6	湯築	道後湯之町ふなや旅館	はじめてのふなや泊りをしぐれけり 湯築	夏目漱石
169	7	3	7	湯築	桜谷町伊佐爾波神社	伊狭庭の湯はしもさはに梅咲けり 湯築	加倉井秋を
170	7	3	8	湯築	桜谷町伊佐爾波神社裏駐車場	栗の花に雨しみ通りいろ深しあさきゆめこそ深く夢みよ 湯築	久保育
171	7	4	9	湯築	道後湯之町放生園	伊予とまうす国あたかたにいで湯わく 湯築	森盲天外
172	7	4	10	湯築	道後湯之町放生園	春風やふね伊豫に寄りて道後の湯 湯築	柳原極堂
173	7	5	11	湯築	道後湯之町道後温泉本館横玉	伊豫乃湯廻江にたてる霊乃石古れ曾神代乃しるし成介る 湯築	作者不詳
174	7	6	12	湯築	道後湯之町椿湯前	惟夫日月照於上而不私神井出於下無不給萬機所以妙應百姓 所以潜扇若乃照給無偏私何異子壽國隨華臺而開合沐神井而= 疹=舛于落花池而化翫翫望山嶽之巖?反冀子乎之能往椿樹相? 而穹窿實相五百之張蓋臨朝啼鳥而戲何?亂音之聒耳丹花卷葉 而映照玉菓彌葩以垂井經過其下可遊游豈悟洪濯齋庭意與才拙 實慚七步後定君子幸無嗟也 湯築	聖徳太子
175	7	7	13	湯築	祝谷東町常信寺	色鳥のいろこ本禮介利むら紅葉 湯築	黒田青菱
176	7	7	14	湯築	祝谷東町常信寺	風去りてゆれしづまりし夕桜 湯築	小原うめ女
177	7	7	15	湯築	祝谷東町常信寺	仰ぐ花見おろす花や常信寺 湯築	永井チヨ女
178	7	8	16	湯築	祝谷東町松山神社参道	東風の松高濱に着き五十春 湯築	酒井黙禪
179	7	8	17	湯築	祝谷東町松山神社参道	しろ山の鶯來鳴く十族町 湯築	高浜虚子
180	7	9	18	湯築	祝谷町五丁目道後公民館祝谷	春光也三百年能城乃景 湯築	酒井黙禪
181	7	10	19	湯築	道後多幸町五一二Osteria 道	神木唐楓さ庭に風媒畏し 湯築	酒井黙禪
182	7	10	20	湯築	道後多幸町五一二Osteria 道	田高庵酒井黙禪旧居月盈虧田高の屋の眺めか奈 湯築	酒井黙禪
183	7	11	21	湯築	祝谷町一丁目愛媛文教会館内	松尔菊古きはものゝなつしき 湯築	正岡子規
184	7	12	22	湯築	道後鷺谷町椿館別館	陽炎や苔にもならぬ玉の石	正岡子規
185	7	13	23	湯築	道後鷺谷町宝荘ホテル	地の底に出湯の流れ山粧ふ 湯築	吉野義子
186	7	14	24	湯築	道後湯之町大和屋ホテル本店	足なへの病ゆくと伊予の湯に飛びても行かな鷺尔あませ者	正岡子規
187	7	14	25	湯築	道後湯之町大和屋ホテル本店	ずんぶり湯の中の顔と顔笑ふ 湯築	種田山頭火
188	7	14	26	湯築	道後湯之町大和屋ホテル本店	漱石が来て虚子来て大三十日 湯築	正岡子規
189	7	14	27	湯築	道後湯之町大和屋ホテル本店	永き日やあくびうつして分連行く 湯築	夏目漱石
190	7	15	28	湯築	道後湯月町円満寺	散と見し幻消て花に月	奥平篤居
191	7	15	29	湯築	道後湯月町円満寺	我師この世にいます比もはひとへに其師の道をになひて 雪 に氷に身をこらしつゝ夏野は脚を草にこかして道にはの露いと はすも門はむくらのとちも閉てん萩には風の音の有しを二見の 浦の貝の数々人をめくみの深ければこそ 世の捨人のなみにあら すもこの日のものとの国のすゑく蝦夷か千嶋もそとのほま辺も 春 のながめの心のとけく岩のはざまも住うからねは 咲ちる事も にまかして 心の花は常に咲しをはるの嵐のさはつれなくて寐屋 にやとせる月の荒しよ そよ村雲のたちかくしにし 其ささらきの宵 の間の夢 覚にし魂をこにうつして 今も花咲かけそ尊ふとき 湯	臥牛洞狂平
192	7	16	30	湯築	道後湯神社	道後なる湯の大神の御社のもとにぬる夜となりにけるかな	与謝野晶子
193	7	17	31	湯築	道後鷺谷町鷺谷墓地	降る雪や明治は遠くなりけり	中村草田男
194	7	18	32	湯築	道後喜多町白石豊重町前俳句	伊豫と申須国あ多し可耳温泉和久 湯築	森盲天外
195	7	18	33	湯築	松山市道後喜多町烏谷税理事 務所前俳句の道俳句の里道後 コース	道後温泉一洵老とずんぶり湯の中の顔と顔笑ふ 湯築	種田山頭火
196	7	18	34	湯築	道後町二丁目県身体障害者福 祉センター前俳句の道	嘉永七年十一月四日大地震あり道後温泉湧出止む十二月廿四 日安政と改元いろの歴史道後の湯はつき春 湯築	前田伍健
197	7	18	35	湯築	道後町二丁目県民文化会館東 歩道俳句の道俳句の里道後コ ース	永き日やあくびうつして分連行く 湯築	夏目漱石
198	7	18	36	湯築	松山市道後喜多町松風寺前俳	湯上りを暫く冬の風かな 湯築	内藤鳴雪
199	7	18	37	湯築	松山市道後喜多町ユーハイムコ	ほしひま湯気立たしめてひとり居む 湯築	石田波郷
200	7	18	38	湯築	松山市道後町二丁目俳句の道	温泉めくりし天戻りし部屋に桃の活け天ある 湯築	河東碧梧桐
201	7	18	39	湯築	道後喜多町松風寺前俳句の道	湯の町の見えて石手へ遍路道 湯築	柳原極堂
202	7	18	40	湯築	道後町二丁目県民文化会館東	馬叱る新酒の酔や頬冠 湯築	正岡子規
203	8	1	1	清水	御幸一丁目一草庵	濁れる水のなかれつゝ澄む 清水	種田山頭火
204	8	1	2	清水	御幸一丁目一草庵	鐵鉢能中へも霞 清水	種田山頭火
205	8	1	3	清水	御幸一丁目一草庵	春風能鉢の子一つ 清水	種田山頭火
206	8	1	4	清水	御幸一丁目一草庵	明け暮れを一草庵に鉢鳴らし過ぎし歳月かぞへるも夢 清水	横田白扇
207	8	2	5	清水	御幸一丁目護国神社神苑	熟田津爾松乘世武登月待者潮毛可奈比沼今者許藝乞菜 清水	額田王
208	8	2	6	清水	御幸一丁目護国神社	亀山院御製忘れず右のつかさの袖触れし花たちばなや今馨 るらむ 清水	亀山院
209	8	3	7	清水	御幸一丁目千秋寺	伊佐尔波の丘免具流水にこだ万して安可津さいで湯乃太鼓鳴 里川川 清水	弘田義定
210	8	3	8	清水	御幸一丁目千秋寺	金色の佛の世界梅雨能燈も 清水	村上杏子
211	8	3	9	清水	御幸一丁目千秋寺	山本や寺ハ黄檗杉ハ秋 清水	正岡子規

212	8	4	10	清水	御幸一丁目東栄寺	萩静か奈るとき夕焼濃かりけり 清水	森薫花壇
213	8	5	11	清水	御幸一丁目来迎寺墓地足立重	功や百年の水も春 清水	内藤鳴雪
214	8	5	12	清水	御幸一丁目来迎寺墓地足立重	寶川伊豫川能秋の出水哉 清水	村上露月
215	8	6	13	清水	御幸一丁目ロシヤ兵墓地	この墓二詣でる度尔思ふかな異国尔眠る友はいかにと 清水	中川啓
216	8	6	14	清水	御幸一丁目ロシヤ兵墓地	永久眠る孝子ざくら能そのほとり 清水	波多野二美
217	8	7	15	清水	御幸一丁目立石誠邸前土手	城北乃景能さきかけ野焼可奈 清水	西岡十四王
218	8	8	16	清水	御幸一丁目孝子桜吉平邸跡	つ久し介無人乃まごとを迹ほわ勢てさく可む月乃はつさくらばな 清水	西村清臣
219	8	9	17	清水	御幸一丁目天徳寺	西尔来て杖遺す此里の初桜見すて加ぬれ波 清水	西行法師
220	8	10	18	清水	御幸一丁目弘願寺	二度とない人生だから二度とない人生だから一輪の花にも 無限の愛をそそいでゆこう一羽の鳥の声にも 無心の耳をかたむけてゆこう二度とない人生だからつゆくさのつゆにもめぐりあいの不思議を思い足をとどめてみつめてゆこう 清水	坂村眞民
221	8	10	19	清水	御幸一丁目弘願寺	念ずれば花ひらく 清水	坂村眞民
222	8	11	20	清水	御幸一丁目長建寺	母と行くこの細径のたんぽゝの花 清水	高橋一洵
223	8	11	21	清水	御幸一丁目長建寺	もりもりあかる雲へあゆむ 清水	種田山頭火
224	8	11	22	清水	御幸一丁目長建寺	筆に声あり霞の竹を打つごとし 清水	正岡子規
225	8	11	23	清水	御幸一丁目長建寺高橋丈雄墓	みんな雑草みんな花みんな雲 清水	高橋丈雄
226	8	11	24	清水	御幸一丁目長建寺	与久ミ禮者齋花さく可幾根か南 清水	松尾芭蕉
227	8	11	25	清水	御幸一丁目長建寺	門前に野菊咲きけり長建寺	大島梅屋
228	8	12	26	清水	文京町松山赤十字病院	春風や博愛乃道一筋仁 清水	酒井黙禅
229	8	13	27	清水	平和通二一六一五小原・鶴井邸	草の花練兵場ハ荒れル介リ 清水	正岡子規
230	8	14	28	清水	平和通2-1-4露口潤邸前	餅を搗く音や於城の山かつら 清水	正岡子規
231	8	15	29	清水	御幸一丁目不退寺裏	分け付けば道はありけりすゝき原 清水	柳原極堂
232	8	16	30	清水	御幸一丁目龍穩寺	咲いてーりんぼんにーりん 清水	種田山頭火
233	8	16	31	清水	御幸一丁目龍穩寺	静かなる山下影に庵つくり雪耕わせて見る桜かな 清水	西行法師
234	8	16	32	清水	御幸一丁目龍穩寺	嘘のよな十六日桜咲きにけり 清水	正岡子規
235	8	16	33	清水	御幸一丁目龍穩寺	西に行き法師もいかに初桜しばしとてこそ杖とまりけり 清水	一遍上人
236	8	16	34	清水	御幸一丁目龍穩寺	一枝にーりんぼんにーりん 清水	河東碧梧桐
237	8	16	35	清水	御幸一丁目龍穩寺	花に来て寺の田楽よばれけり 清水	柳原極堂
238	8	16	36	清水	御幸一丁目龍穩寺	人の氣を花に乗せゆく桜かな 清水	松尾芭蕉
239	8	16	37	清水	御幸一丁目龍穩寺	又たくひ世は極さかり此の桜 清水	小林一茶
240	9	1	1	東雲	丸之内東雲神社	東雲のほらと初桜 東雲	内藤鳴雪
241	9	1	2	東雲	丸之内東雲神社	遠山に日の当たりにたる枯野哉 東雲	高浜虚子
242	9	2	3	東雲	東雲町東雲公園	夕桜城の石崖裾濃奈る 東雲	中村草田男
243	9	3	4	東雲	丸之内長者平	松山や秋より高き天主閣 東雲	正岡子規
244	9	4	5	東雲	大街道三丁目五味鳥前(東雲神社石段下)俳句の里城下コース⑦	牛行くや毘沙門阪の秋の暮 東雲	正岡子規
245	9	5	6	東雲	喜与町三宝寺	風ひそ柿能葉落としゆく月夜 東雲	野村朱熹洞
246	9	6	7	東雲	平和通1-6-6村上商事ビル前	秋の山御幸寺と申し天狗住む 東雲	正岡子規
247	9	7	8	東雲	平和通1-1-5五泉田一洋邸前	杉谷や有明映る梅の花 東雲	正岡子規
248	9	8	9	東雲	平和通1-2-2白形文定邸前	杉谷や山三方にほとぎ須 東雲	正岡子規
249	9	9	10	東雲	平和通1-3-4田口貞好邸前	天狗泣き天狗笑ふや秋の風 東雲	正岡子規
250	9	10	11	東雲	平和通1-5-5於茂田稔邸前	蜻蛉の御幸寺見おろす日和哉 東雲	正岡子規
251	9	11	12	東雲	平和通1-6-5神岡輝行邸	見上ぐれば城屹として秋の空 東雲	夏目漱石
252	9	12	13	東雲	勝山町二丁目常楽寺	年越経て花に遊へ流君可名ハ奈越い川万出も世耳香をらまし 東雲	池の坊専正
253	9	13	14	東雲	勝山町一丁目青木第一ビル前	砂土手や西日をうけて蕎麦の花 東雲	正岡子規
254	9	14	15	東雲	一番町一丁目アメリティー番町横 駐車場俳句の里城下コース⑧	高浜虚子住居跡 東雲	
255	10	1	1	姫山	姫原一丁目姫池畔姫池奥軽太	軽之神社・軽太子の塚 姫山	
256	10	1	2	姫山	姫原一丁目姫池奥軽太子塚	天さかるひな乃伊予路に永久乃愛に生きたまふ二柱の神 姫	八木米蔵
257	10	1	3	姫山	姫原一丁目姫池奥軽太子塚	天飛ぶ鳥も使ぞ鶴が音の聞えむ時は我が名聞はさね 姫山	木梨掬の太子
258	10	1	4	姫山	姫原一丁目姫池奥軽太子塚	君が行きけ長くなりぬ山鉦の迎へ行かむ待つには待たじ 姫	軽の太郎女
259	10	2	5	姫山	山越六丁目高崎公園	永き日や葉種つ多ひの七曲り 姫山	正岡子規
260	11	1	1	潮見	鴨川二丁目久保内科	御降りや外湯に通ふ宿の傘 潮見	久保蘭香
261	11	2	2	潮見	平田町常福寺(金比羅宮権現)	木の芽日和慶事あるらし村人の 潮見	森田雷死久
262	11	3	3	潮見	吉藤五丁目門屋知照邸前	祝大輪の菊ぞ咲きけり温泉能里 潮見	波多野二美
263	11	3	4	潮見	吉藤五丁目門屋知照邸裏三谷大権現神社	三谷山神の心なりみかん熟る 潮見	門屋知照
264	11	3	5	潮見	吉藤五丁目潮見バス停跡前	古墳見え城山見えて長閑哉 潮見	酒井黙禅
265	11	4	6	潮見	平田町阿沼美神社参道	春光や愛を盡せる蜜柑園 潮見	作道放洋
266	12	1	1	久枝	安城寺町久枝小学校	雨だりにくみほし軒の石みてもかたき業して思ひすてめや 久枝	明治天皇
267	12	1	2	久枝	安城寺町久枝小学校	よものうみみなはらからと思う世になど波風のたちさわぐらん	明治天皇
268	12	2	3	久枝	高木町高音寺	足弱に施薬願わん秋の寺 久枝	森田雷死久
269	12	2	4	久枝	高木町高音寺	念ずれば花ひらく 久枝	坂村眞民
270	12	2	5	久枝	高木町高音寺	佳世は静なるものほらの花 久枝	坂白象
271	13	1	1	堀江	福角町四ツ堂橋近く	埋れ木になりつゝ川の猫柳 堀江	白塵火風
272	13	2	2	堀江	福角町ホテル清泉	大伊豫の友國の湯にひたりつつほのぼのとしてものをこそおもへ 堀江	吉井勇
273	13	3	3	堀江	権現町県立盲老人ホーム権現	念ずれば花ひらく 堀江	坂村眞民
274	13	4	4	堀江	東大栗町医座寺	白雪乃たえまにみ遊留山松能美登里は空の色とこそ之連 堀	宮満良親王
275	13	5	5	堀江	東大栗町県道204号傍	母の前に着くまでは帰路秋の暈 堀江	光宗尊
276	13	6	6	堀江	福角町東林寺	降りに降る石をも育つ若葉雨 堀江	梵子
277	13	7	7	堀江	堀江町浄福寺	千嶋艦覆没ものゝふの河豚にくゝるゝ悲しさよ 堀江	正岡子規
278	13	8	8	堀江	堀江町幸乃神社	ゆく希ふも可へらん時も玉ぼ古乃悲支毛の神にいのれとぞ思ふ 堀江	紀貫之
279	14	1	1	和氣	太山寺町太山寺参道	法燈未絶太山寺下人皆愛至誠嚴正氣旺洋矣何處難??聲 和氣	小原六六庵
280	14	1	2	和氣	太山寺町太山寺参道	菟藟につゞじの名あれ太山寺 和氣	正岡子規

281	14	1	3	和氣	太山寺町太山寺参道	十月の中能二日や柳つ可 和氣	黒田竹翁
282	14	1	4	和氣	太山寺町太山寺参道柳壘	八九間空へ雨ふる柳可南 和氣	松尾芭蕉
283	14	1	5	和氣	太山寺町太山寺	鳥は飛ばねばならぬ人は生きねばならぬ 和氣	坂村真民
284	14	1	6	和氣	太山寺町太山寺参道	念ずれば花ひらく 和氣	坂村真民
285	14	1	7	和氣	太山寺町太山寺参道	春雨や王朝能詩々今昔 和氣	松根東洋城
286	14	1	8	和氣	太山寺町太山寺参道	道ゆずる人を拝み天秋遍路 和氣	村上杏子
287	14	1	9	和氣	太山寺町太山寺参道	もり三あかる雲へあゆむ 和氣	種田山頭火
288	14	1	10	和氣	太山寺町太山寺参道	月の虫や月の照らざる側も虫 和氣	徳永山冬子
289	14	2	11	和氣	和氣町一丁目目明寺	羅以こう能ミ雲のひ可里乃圓明寺て里ふ可げハよ奈三の月 和	作者不詳
290	14	2	12	和氣	和氣町一丁目目明寺	いかにして剪りたる泰山木能花 和氣	芳野井寒
291	14	2	13	和氣	和氣町一丁目目明寺	麗かやめ久ら乃眼も弥陀の像 和氣	中野三介
292	14	2	14	和氣	和氣町一丁目目明寺	鶴飛久や丹頂雲越やぶりつゝ 和氣	松根東洋城
293	14	2	15	和氣	和氣町一丁目目明寺	鳥遍路干濕歩きて近道す 和氣	芳野正王
294	14	2	16	和氣	和氣町一丁目目明寺	星を掃く寺の銀杏や夜半の霜 和氣	芳野佛旅
295	14	2	17	和氣	和氣町一丁目目明寺	鈴の音能笠共三に霞みけ里 和氣	峨山
296	14	3	18	和氣	和氣町一丁目和氣町一丁目集	神能子の人乃子にして初日か奈 和氣	芳野佛旅
297	14	4	19	和氣	勝岡町内新田公園	十月の海八風いだり蜜柑船 和氣	正岡子規
298	14	5	20	和氣	和氣町二丁目和氣グリーンターウン前田邸横額彰碑	宵い宵いや稲妻ひかる枕元 和氣	渡部玄素
299	14	6	21	和氣	勝岡町勝岡神社	俳諧の天地自在三棧哉 和氣	松本北嶺
300	15	1	1	由良	由良町鷲巢海岸	興居鳥尔天志徒可奈る汐能干漏能砂ほりてもと免えし加奈お保みどり由むし 由良	昭和天皇
301	16	1	1	泊	泊町松山市役所興居島支興居所泊出張所	=なくや小富士の麓桃の花 泊	正岡子規
302	17	1	1	高浜	高浜一丁目黒岩蛭子神社	初汐や松に浪こそ四十島 高浜	正岡子規
303	17	1	2	高浜	高浜一丁目黒岩蛭子神社	かがやき能きはみ白波う知かへし 高浜	野村朱燐洞
304	17	2	3	高浜	高浜一丁目黒岩口バス停横	興居嶋へ魚舟いそぐ吹雪哉 高浜	正岡子規
305	17	3	4	高浜	港山町不動院	笠を舖て手越えて志る可めの水 高浜	松尾芭蕉
306	17	4	5	高浜	港山町親月山公園下	葦刈乃唄れば移る芦火可奈 高浜	重松美智緒
307	17	4	6	高浜	港山町親月山公園下	頂の蕨畑にあげ月涼し 高浜	平松一步
308	17	4	7	高浜	港山町親月山公園下	一片の雲のよこたふ春の富士 高浜	中西月龍
309	17	4	8	高浜	港山町親月山公園下	海の上歩介左うなる良夜かな 高浜	村上多津
310	17	4	9	高浜	港山町親月山公園下	梅に佇つ佛の賜ふ雨にぬれ 高浜	三好魚文
311	17	4	10	高浜	港山町親月山公園下	門を入れて一山花乃宴 高浜	棟田まさを
312	17	4	11	高浜	港山町親月山公園下	鶯鳥ども喜びさわぐ花さけり 高浜	平岡暢子
313	17	4	12	高浜	港山町親月山公園下	句碑乃灯尔躰みて拾ふ露か奈 高浜	芳内豊和子
314	17	4	13	高浜	港山町親月山公園下	笛鳴いてみほ登け何の音も無志 高浜	二神比出
315	17	4	14	高浜	港山町親月山公園下	石庭の影峨々とあり十三夜 高浜	中野庄
316	17	4	15	高浜	港山町親月山公園下	通夜乃庭鏡き奈る盆踊 高浜	黒田十風
317	17	4	16	高浜	港山町親月山公園下	鳴くちからたまれば鳴きぬ冬の虫 高浜	竹内武城
318	17	4	17	高浜	港山町親月山公園下	葉にかくれ睡蓮眠る花を閉ず 高浜	本山一彦
319	17	4	18	高浜	港山町親月山公園下	人來ると鶯鳥の知らず炭をつぐ 高浜	中西月龍
320	17	4	19	高浜	港山町親月山公園下	拾ひたる沙羅能落花も露に濡れ 高浜	藤田ひろむ
321	17	4	20	高浜	港山町親月山公園下	紫を秘めたる蕾寒あやめ 高浜	石崎千代
322	17	4	21	高浜	港山町親月山公園下	山道の掃いてあり多る初詣 高浜	富安風生
323	17	5	22	高浜	梅津寺町梅津寺パーク	古乃茂園瀨の留毛那末春裳左句良可南 高浜	松尾芭蕉
324	17	5	23	高浜	梅津寺町梅津寺パーク	蒼天の鳥山と海裸の子 高浜	森白象
325	17	6	24	高浜	梅津寺町梅津寺遊園地秋山真之像前	接敵艦見之警報聯合艦隊欲直出動撃滅之本日天氣晴朗波高 高浜	秋山真之
326	17	6	25	高浜	梅津寺町梅津寺遊園地秋山真之像前	梅が香や於まへとあしの子規真之 高浜	酒井黙禪
327	17	7	26	高浜	高浜五丁目2258-1松山市観光港前	高浜延齡館にて雪の間に小富士の風の薫りけり 高浜	正岡子規
328	18	1	1	三津浜	神田町定秀寺	銀杏寺をたよるやお船納涼能日 三津浜	河東碧梧桐
329	18	1	2	三津浜	神田町定秀寺	花の道後ろむく氣能捨てたり計李 三津浜	藤岡花朝
330	18	1	3	三津浜	神田町定秀寺	堂成りて銀杏三百五十年 三津浜	五十崎杏沖
331	18	2	4	三津浜	三津二丁目惠美須神社	敬へ齋奈ほも多しや花明里 三津浜	大原其茂
332	18	2	5	三津浜	三津二丁目惠美須神社	志久るゝや田能阿ら株の久路無本と 三津浜	松尾芭蕉
333	18	3	6	三津浜	神田町嚴島神社	古きみなと三津葉月潮澄みたたへ 三津浜	竹内武城
334	18	3	7	三津浜	神田町嚴島神社	木のもとにし流業脛も佐くら哉 三津浜	松尾芭蕉
335	18	3	8	三津浜	神田町嚴島神社	は都さ久羅筆の世の中与り可り个里 三津浜	栗田樗堂
336	18	4	9	三津浜	三津1-6-15防予汽船ビル前	御立ちやるか御立ちやれ新酒菊の花 三津浜	夏日漱石
337	18	4	10	三津浜	三津1-6-15防予汽船ビル前	柿食へば 三津浜	正岡子規
338	18	4	11	三津浜	三津1-6-15防予汽船ビル前	十一人一人尔奈りて秋の暮 三津浜	正岡子規
339	18	4	12	三津浜	三津1-6-15防予汽船ビル前	十一人一人になりて秋の暮 三津浜	正岡子規
340	18	4	13	三津浜	三津1-6-15防予汽船ビル前	せわしなや桔梗に來り菊に去る 三津浜	正岡子規
341	18	4	14	三津浜	三津1-6-15防予汽船ビル前	疾く帰れ母一人ます菊の庵 三津浜	夏日漱石
342	18	5	15	三津浜	梅田町松山梅田町郵便局	熱田津爾船乘世武登月待者潮毛可奈比沼今者許可藝乞菜 三津浜	額田王
343	18	5	16	三津浜	梅田町松山梅田町郵便局	舟つなく三津のみなとの夕されに苦の上近く飛ふ千鳥かも 三津	正岡子規
344	19	1	1	宮前	古三津1-26-50法雲寺	金亀山香殿佛心威徳光麗輝蘭若溢涕堂金亀山号靈於此法道如萬歳長 宮前	黒田春樵
345	19	1	2	宮前	古三津1-26-50法雲寺	法雲寺外小芙蓉眺望絶佳如臥龍伊豫奇峰窮多景萬年不滅瑞祥濃 宮前	黒田春樵
346	19	1	3	宮前	古三津1-26-50法雲寺	松あれて不里可遍り観る庵可那 宮前	鷺野瑞栄
347	19	2	4	宮前	古三津五丁目四久枝神社	熱田津爾船乘世武登月待者潮毛可奈比沼今者許可藝乞菜 宮前	額田王
348	20	1	1	みどり	久万ノ台成願寺	盛りなる花曼陀羅の躑躅かな みどり	高浜虚子
349	20	1	2	みどり	久万ノ台成願寺	竹林の奥能方より黒揚羽 みどり	村上杏子
350	20	2	3	みどり	久万ノ台伊予かすり会館	花木権家ある限り機音のみどり	正岡子規
351	20	3	4	みどり	船ヶ谷町諸山積神社参道	白芙蓉可細く首の可多むく尔左羅左羅時の流連やます毛 みど	五百木小平

352	21	1	1	味生	山西町常福寺	有たや詣る心は有明乃我らやて託す身となる 味生	横田弥太広
353	21	1	2	味生	山西町常福寺	三役の志こを踏んだか初登り 味生	横田弥太広
354	21	1	3	味生	山西町常福寺	村人に尽し賜うた真心を称え奉らん幾年までも 味生	横田弥太広
355	21	2	4	味生	大可賀一丁目三津公園	造作なふ共尔消希り行き雪佛 味生	大原其沢
356	21	2	5	味生	大可賀一丁目三津公園	明月や丸うふけゆくもの影 味生	大原其戎
357	22	1	1	味生第二	北斎院町高家八幡神社	百階塔磴露叢々蕭鼓瑟々金桂風祇樹森藏清廟遠堂=久住白龍 雄高家祠儼思威普齋院鄉榮梁稻豐旌幟翻社日子来黎庶古今 同 味生第二	古木越堂
358	22	1	2	味生第二	北斎院町高家八幡神社	神祐古来偉功あり炳然たる威徳玉玲瓏人栄え村富む一干載仰 ぎ望む高家守護の宮 味生第二	小原六六庵
359	22	2	3	味生第二	別府町浄明院碑陰	熊野の御守遍路の土産とす 味生第二	森脇田鶴子
360	22	2	4	味生第二	別府町浄明院碑陰	御即位の記念の口舟植え終る 味生第二	森脇田鶴子
361	22	3	5	味生第二	南斎院町日吉神社	神苑や相生松の緑立つ 味生第二	酒井黙禪
362	22	4	6	味生第二	南斎院町吉重神社	願いごと思ふがまゝに導きて萬の人を救い賜わん身をもって守り し城は今ほなき昔を永遠に語り伝えん荒れ果てし君の御霊は今 こゝに真心集い石鳥居建つ幸せを此の世に命ある限り親子三代 後の世までも石鳥居社を建てし世話役の観音様に顔もよく似て	西谷政子
363	22	4	7	味生第二	南斎院町吉重神社	葉は落ちて野末の散りとくちるともその根は枯れち春に栄えん 味生第二	矢草出羽守吉重
364	23	1	1	味酒	味酒町2-14-6大林寺六地藏横	母を葬るのうたうき雲はありともわかぬ大空の月かげよりふるし ぐれかなきみがはかばにきくありきみがはかばにさかきありさ ばにつゆはしげくしておもからずやはそのしるしいつかへりこん わがはよ紅羅ひく子もますらをもみなちりひじとなるものをあゝ さめたまふことなかれはるははなききはなちりてきみがはかばに かゝるともなつはみだるゝほたるびのきみがはかばにとべるとも あきはさみしきあきさめのきみがはかばにそゝぐともふゆはまし るにゆきじものきみがはかばにこぼるともほきねむりのゆめまく	島崎藤村
365	23	2	2	味酒	味酒町三丁目阿沼美神社	浮雲也ま多降雪の少し都々 味酒	栗田禮堂
366	23	2	3	味酒	味酒町三丁目阿沼美神社	さまのことおもひ出す桜かな 味酒	松尾芭蕉
367	23	2	4	味酒	味酒町三丁目阿沼美神社	者流もやゝ氣し支とゞの不月と梅 味酒	松尾芭蕉
368	23	3	5	味酒	萱町四丁目大三島神社	萱町や裏へまはれ青簾 味酒	正岡子規
369	23	4	6	味酒	味酒町三丁目康申庵資料館	草の戸乃ふるき友也梅の花 味酒	栗田禮堂
370	23	5	7	味酒	松前町四丁目法泉寺	慶長乃昔を偲ぶ天守閣 味酒	山口双葉
371	23	6	8	味酒	松前町五丁目大法寺	日尔華を友奈不蓮の力可南 味酒	力友蔵
372	23	7	9	味酒	萱町六丁目松山市保健センタ	三津口を又一人行く拾哉 味酒	正岡子規
373	24	1	1	新玉	南江戸五丁目大宝寺	不上西山十数年偶乘春齋酔花前花神不識忘吾舌欲報一杯尋舊 縁 新玉	武智五友
374	24	1	2	新玉	南江戸五丁目大宝寺	し多れ咲く花の浄瑠璃世界かな 新玉	吉田速水
375	24	1	3	新玉	南江戸五丁目大宝寺	念ずれば花ひらく 新玉	坂村眞民
376	24	1	4	新玉	南江戸五丁目大宝寺	花見連八輪ぞのふる世乃人の老ぬ葉や桜な類ら無 新玉	石井義郷
377	24	2	5	新玉	南江戸五丁目山内神社	西山に櫻一木のあるじ哉 新玉	正岡子規
378	24	2	6	新玉	南江戸五丁目山内神社	一、常磐の末の色ふかき その松山に名も高く 誉れを千歳に遺 したる 忠誠義烈の大丈夫松山侯に仕えたる 山内與右衛門久元 氏 新玉	奥村算貞
379	24	3	7	新玉	南江戸六丁目東之池畔	苗代尔豊ミえす久や早稲於之祢 新玉	四時園其戎
380	24	4	8	新玉	大手町三丁目JR松山駅前	春や昔十五万石の城下哉 新玉	正岡子規
381	24	4	9	新玉	大手町三丁目JR松山駅前地 下道東入口	石鎚も南瓜の花も大いなり 新玉	富安風生
382	24	5	10	新玉	千舟町八丁目新玉小学校	夜明介から太鼓う徒なり夏木立 新玉	下村為山(牛伴)
383	24	6	11	新玉	湊町7-9-1済美高等学校	柿の実能中より光りさすごとし 新玉	川本臥風
384	25	1	1	番町	二番町四丁目市役所前電停前 堀端	さくら活けた花屑乃中可ら一枝拾ふ 番町	河東碧梧桐
385	25	2	2	番町	松山市一番町四丁目	わかるゝや一鳥啼て雲に入る	夏目漱石
386	25	3	3	番町	二番町四丁目番町小学校	松風会ゆかりの松山市立高等小学校跡 番町	
387	25	4	4	番町	二番町四丁目土居晋邸	夏目漱石ゆかりの旅館「きどや」 番町	
388	25	5	5	番町	三番町四丁目関西造園駐車場 前	河東碧梧桐生誕地跡 番町	
389	25	6	6	番町	松山市三番町三丁目	大原観山邸跡	
390	25	7	7	番町	二番町三丁目料亭天平横	夏目漱石寓居愚陀佛庵跡碑 番町	
391	25	8	8	番町	松山市一番町三丁目	なつかしき父の故郷月もよし	高浜年尾
392	25	8	9	番町	一番町三丁目県立美術館分館 裏愚陀佛庵下	秋晴の城山を見てまず嬉し 番町	今井つる女
393	25	8	10	番町	一番町三丁目県立美術館分館 (萬翠荘)俳句の里城下コース	城山や筈のびし垣の上 番町	柳原極堂
394	25	8	11	番町	一番町三丁目県立美術館分館 (萬翠荘)俳句の里城下コース	愛松亭跡 番町	
395	25	8	12	番町	一番町三丁目県立美術館分館 (萬翠荘)	拝呈出立の切は色々御厚意を蒙り奉万謝候、私事去る七日十一 時発九日午後二時頃当地着仕候間乍憚御安意被下度候赴任 後序を以って石川一男氏に面会致し早速貴意申述候間左様御 承知被下度候同君事ハ今回石川県に新設の中学校へ更任相成 明日当地出発の筈に御座候小生就任来既に四名の教師は更迭 と相成石川君も其一人に御座候何事も知らずに参りたる小生 には余程奇体に思はれ候 教授後未だ一週間に過ぎず候へども 地方の中学の有様杯は東京に在って考ふる如き淡泊のものに は無之小生如きハミットの人間は大困却致す事も可有之と 存候 くだらぬ事に時を費やし思ふ様に勉強も出来ず且又過日 御話の洋行費貯蓄の実行も出来ぬ様になりはせぬかと=かに 心配致居候 先は右御報まで余は後便に譲り申候時下花紅柳 緑の候謹んで師の健康を祈り申候頓首四月十六日神田先生東 京麹町区飯田町神田乃武様 親展愛媛県松山市一番町愛松	夏目漱石

396	25	9	13	番町	花園町花園モータープール前	正岡子規誕生地碑 番町	
397	25	10	14	番町	湊町五丁目松山市駅前電停緑地帯	城山の浮み上るや青嵐正岡子規又ノ名は処之助又ノ名ハ升又ノ名ハ子規又ノ名ハ瀬祭書屋主人又ノ名ハ竹ノ里人伊豫松山ニ生シ東京根岸に住ス父隼太松山藩御馬廻加番タリ卒ス母大原氏ニ養ハル日本新聞社員タリ明治三十口年口月口日没ス享年三十口月給四十圓 番町	正岡子規
398	25	11	15	番町	湊町三丁目中之川緑地帯子規邸跡	くれなゐの梅散るなへル故郷につくし徒みルし春し思保ゆ 番町	正岡子規
399	25	12	16	番町	松山市湊町3丁目・中の川筋緑地帯	我ひとりのこして行きぬ秋の風	野間叟柳
400	25	13	17	番町	湊町四丁目中之川緑地帯	正岡子規母堂令妹邸跡 番町	
401	25	14	18	番町	柳井町二丁目川口美浦邸前	浦屋雲林邸跡 番町	
402	25	15	19	番町	柳井町三丁目法龍寺門前	粟の穂のこゝを叩くなこの墓を 番町	正岡子規
403	25	15	20	番町	柳井町三丁目法龍寺門前	正岡家墓地跡 番町	
404	25	16	21	番町	柳井町一丁目石手川土手	涼し左や西へと誘ふ水乃音 番町	内海淡筋
405	25	17	22	番町	松山市湊町4丁目・円光寺	風呂吹を喰ひに浮世へ百年目	正岡子規
406	25	17	23	番町	松山市湊町4丁目・円光寺	冬さひぬ蔵沢の竹明月の書	正岡子規
407	25	18	24	番町	三番町二丁目民養えひめ前	辛からうおれも乞食を五十年	村上桂山
408	25	19	25	番町	堀之内堀之内公園	最も愛情のあるものは最も勇敢なり	桜井忠温
409	26	1	1	八坂	勝山町一丁目今井石油向い側駐車場前	赤い椿白い椿と落ちにけり 八坂	河東碧梧桐
410	26	2	2	八坂	勝山町一丁目ワタモク駐車場	秋高し鶯舞ひしむ城の上 八坂	正岡子規
411	26	3	3	八坂	勝山町一丁目阿部神仏具店前	駒鳥鳴くや唐人町の春の暮 八坂	正岡子規
412	26	4	4	八坂	勝山町一丁目寿見ビル駐車場	沢亀の万歳みせせ御國ぶり 八坂	正岡子規
413	26	5	5	八坂	勝山町一丁目ワミス化粧品	するする陽がしむ海のかなたの國へ 八坂	野村朱燦洞
414	26	6	6	八坂	北立花町6-10木村弘邸前	祝「ほととぎす」発刊新年や鶯鳴いてほととぎす 八坂	正岡子規
415	26	7	7	八坂	勝山町一丁目緑地帯	魚文可多耳素堂芭蕉翁其角の三對のあれ者訪ネ天拝須正風の三尊見多り梅の宿 八坂	小林一茶
416	26	8	8	八坂	新立町金毘羅神社	名月新立や橋の下より今日の月 八坂	正岡子規
417	26	9	9	八坂	新立町多賀神社	馬を佐へな可む留由幾乃安した可那 八坂	松尾芭蕉
418	26	10	10	八坂	北立花町井手神社	薫風や大文字を吹く神の村 八坂	正岡子規
419	26	11	11	八坂	北立花町石手川公園	囀や天地金泥塗りつづし 八坂	野村喜舟
420	27	1	1	雄郡	末広町正宗寺墓地	正岡氏累代之墓 雄郡	
421	27	1	2	雄郡	末広町正宗寺墓地	正岡子規埋髪塔 雄郡	
422	27	1	3	雄郡	末広町正宗寺墓地	内藤鳴雪埋髪塔 雄郡	
423	27	1	4	雄郡	末広町正宗寺門前	子規居士と鳴雪翁の居たまへる伊予の御寺の秋の夕暮 雄郡	与謝野晶子
424	27	1	5	雄郡	末広町正宗寺	松山にてホトギス六百號記念会極堂も席に在り笹啼が初音に奈りし頃のこと 雄郡	高浜虚子
425	27	1	6	雄郡	末広町正宗寺	打ちはずす球キャッチャーの手に在りてベースを人の行きがてにする 雄郡	正岡子規
426	27	1	7	雄郡	末広町正宗寺	今やかの三つのベースに人満ちてそとに胸の打ち騒ぐかな 雄郡	正岡子規
427	27	1	8	雄郡	末広町正宗寺	朝寒やたのもとひづく内玄閣 雄郡	正岡子規
428	27	1	9	雄郡	末広町正宗寺	子規堂の小窓開けあり葉鶏頭 雄郡	堀内雄三
429	27	1	10	雄郡	末広町正宗寺	停車場はすぐ知れた。切符も訳なく買った。乗り込んで見るとマツ箱の様な汽車だ。ごろごろと三分許り動いたと思ったら、もう降りなければならぬ。道理で切符が安いと思った。たった三銭である。「坊ちゃん」より 雄郡	夏目漱石
430	27	1	11	雄郡	末広町・正宗寺坊ちゃん列車前	子規が乗り漱石が乗り三津に行き道後に行きし汽車がこの汽車 雄郡	越智水草
431	27	2	12	雄郡	松山市泉町・薬師寺	我見しより久しきひよんの茂	正岡子規
432	27	2	13	雄郡	松山市泉町・薬師寺	寺清水西瓜も見えず秋老いぬ	正岡子規
433	27	3	14	雄郡	末広町興聖寺	梅てのむ茶屋も有へし死出の山	大高子業
434	27	3	15	雄郡	末広町興聖寺	極堂の句碑こりあり興聖寺 雄郡	塩崎潤
435	27	3	16	雄郡	末広町興聖寺	古よりぞし富貴にあらざるの春 雄郡	柳原禎堂
436	27	4	17	雄郡	小栗三丁目雄郡神社	御所に小栗祭の用意か奈 雄郡	正岡子規
437	27	4	18	雄郡	小栗三丁目雄郡神社	うぶすなに離れてたり稲の花 雄郡	正岡子規
438	28	1	1	双葉	土居田町愛媛県更生保護会雄郡寮	男の劇場一、正しい者が勝たいてでなるかそれがこの世の真理じやないか忍の一字に望みをかけてじつと出を待つ来島瀬戸の渦も知ってる男のロマン二、できないがまんするのががまん怨みつらみの百万言は腹に収めてにっこり笑うがまん男のがまんの前に壁は崩れる氷もとける三、自分のみなりにかまっちゃおれぬあとにはたのむぞ可愛い女房俺は大将まっ先かけて浴びる火の粉に身はただれてもいかにやなるまい勝たねばならぬ 双葉	星野哲郎
439	28	2	2	双葉	拓川町相向寺	真宗の伽藍いかめし稲の花 双葉	正岡子規
440	28	3	3	双葉	土居田町鬼子母神	じゆずびや普通ひし叔父が家 双葉	正岡子規
441	29	1	1	生石	久保田町覆脱天満宮	梅可香の満己多利化里天可下 生石	宇都宮丹精
442	30	1	1	余土	出合出合荘前(出合大橋畔)	標さけり古郷波瀾の邑かすむ 余土	水原秋桜子
443	30	1	2	余土	出合出合荘前(出合大橋畔)	若鮎の二手になりて上り希り 余土	正岡子規
444	30	2	3	余土	余戸東5-15-28三島大明神	行く秋や手を引きあひし松二木 余土	正岡子規
445	31	1	1	垣生	西垣生町三島神社前バス停	村上露月邸跡 垣生	
446	31	2	2	垣生	西垣生町三島神社	酔眼に天地麗(うら)ら麗らかな 垣生	村上露月
447	31	2	3	垣生	西垣生町三島神社	初暦好日三百六十五 垣生	村上露月
448	31	3	4	垣生	西垣生町鍵谷力ナ頌功堂	朝鵬に夕鵬こかすり織りすむ 垣生	村上露月
449	31	3	5	垣生	西垣生町鍵谷力ナ頌功堂	明日引かひ鳴なる深き眠りかな 垣生	三由孝太郎
450	31	4	6	垣生	西垣生町長楽寺	密乗の門太白花仰き入る 垣生	村上露月
451	31	4	7	垣生	西垣生町長楽寺	やちとせもいでゆのほこり伊予紺鍵谷力ナ女の遺徳なりけり 垣生	岡本松風
452	31	4	8	垣生	西垣生町長楽寺	や知登せもいで湯能語伊豫紺鍵谷力ナ女乃遺徳奈り計里 垣生	岡本松風
453	31	5	9	垣生	西垣生町垣生小学校	秋いくとせ石榴を見ず母を見ず 垣生	石田波郷
454	32	1	1	素鷺	小坂二丁目多聞院	倉能ひまより見ゆ春能山夕月が 素鷺	野村朱燦洞
455	32	2	2	素鷺	日の出町日の出公園	新場処や紙つきやめなく水 = 素鷺	正岡子規

456	32	2	3	素鷺	日の出町日の出公園	そぞろ来天橋あちこち登夏月 素鷺	五百木颯亭
457	33	1	1	石井東	星岡町雲門寺墓地	青森のりんごを売れる橋市 石井東	饒秋
458	33	2	2	石井東	北土居町立石橋北詰め	内川や外川かけて夕しぐれ 石井東	正岡子規
459	33	3	3	石井東	土居町萬福寺	塹壕乃中与り蝶の翔ち尔計里 石井東	岡田広稔
460	33	3	4	石井東	土居町萬福寺	黄昏るゝ院に人なし白桔梗 石井東	柏紅葉
461	33	3	5	石井東	土居町萬福寺	月従いて汽車ふるさとへ古里へ 石井東	河本善耕子
462	33	4	6	石井東	東石井町本覚寺	南無大師み像仰げば堂前のいちようの大樹芽ぶきそめたり 石	中川実温
463	34	1	1	石井	居相町伊予豆彦神社	嗚呼鈴が鳴る平和の鈴天を仰ぎ地伏し太子を偲ぶ神功皇后の御徳を讃え世界同胞平和越叫ぶ朝はお早うお早うと屋者協和し今日口とタル感謝ありがとうこれが平和の始なり物や名誉や権力は生きるためは役立たず活かされる身能四合せは誠の業尔励むこ登人種国籍富能差別はあ連ど人は皆神の子として活かされる平和建設案かなん 石井	出居清太郎
464	34	1	2	石井	居相町伊予豆彦神社	恵栄なもしお橋まいり道後の湯 石井	河本南生史
465	34	1	3	石井	居相町伊予豆彦神社	春銭のひゞきに落ちる橋かな 石井	正岡子規
466	34	1	4	石井	居相町伊予豆彦神社	想衣婆於母和禮留 石井	長曾我部勝
467	34	1	5	石井	居相町伊予豆彦神社	句碑にしたしく萩の咲きこぼれてある 石井	種田山頭火
468	34	1	6	石井	居相町伊予豆彦神社	鈴ひけば神とわたしに虹の橋 石井	仲川たけし
469	34	1	7	石井	居相町伊予豆彦神社	椿祭は多して神威雪となる 石井	品川柳之
470	34	1	8	石井	居相町伊予豆彦神社	むかしむ可志日本能久尔に陽か照りて父能古恵にてもみす里の唄 石井	大野静
471	34	1	9	石井	居相町伊予豆彦神社	予の国に春立つ椿祭かな 石井	小倉虹男
472	34	2	10	石井	東石井町橋石材センター	椿活希て香焚い天佛越刻む哉 石井	正岡子規
473	35	1	1	椿	市坪北一丁目市坪集会所	荒れにけり茅針まじりの市の坪 椿	正岡子規
474	35	2	2	椿	市坪南二丁目素鷺神社	荒れにけり茅針まじりの市の坪 椿	正岡子規
475	35	3	3	椿	市坪西町坊ちゃんスタジアム	草茂みベースボールの道白し 椿	正岡子規
476	36	1	1	浮穴	森松町浮穴公民館	草むらや土手ある限り曼珠沙華 浮穴	正岡子規
477	36	2	2	浮穴	森松町浮穴公民館森松分館	葉桜の影より人の来る気配 浮穴	重松鏡夫
478	36	3	3	浮穴	南高井町南高井病院	雲されて佐しくる光もくれんのむくの一華を天へらびて 浮穴	西川喜代美
479	36	3	4	浮穴	南高井町南山苑	古木林大地つかみて水澄めり 浮穴	尾形南風
480	36	3	5	浮穴	南高井町南山苑	手のひらにいたゝ久春の光可南 浮穴	柳原極堂
481	36	3	6	浮穴	南高井町南山苑	一輪の椿が敷を明るくす 浮穴	大野岬歩
482	36	4	7	浮穴	南高井町杖の淵公園	ていれぎの下葉浅黄に秋の風 浮穴	正岡子規
483	36	5	8	浮穴	南高井町ていれぎ名水の里取水場	念ずれば花ひらく 浮穴	坂村真民
484	36	6	9	浮穴	井門町昌福寺	成佛をしかと見届く牡丹可奈 浮穴	橋華子
485	36	6	10	浮穴	井門町昌福寺	法衣唄の如く孕みて春の風し 浮穴	山田潜龍
486	36	6	11	浮穴	井門町昌福寺	念ずれば花ひらく 浮穴	坂村真民
487	36	7	12	浮穴	森松町重信橋西堤防	望郷山河に霧たちのぼり鳥の鳴くゆ免ながらよし古里のさま 浮	三好綱一
488	36	8	13	浮穴	森松町793-7地蔵堂	御佛の慈悲にすがりてあたゝかし 浮穴	小原うめ女
489	37	1	1	福音	星岡町星乃岡荘	奮然蹶起唱動皇堅守孤城意氣剛来訪当年争戦跡表中碑畔立斜陽 福音	小原六六庵
490	37	2	2	福音	天山町天山神社	天山のわれて落ちぬるおもかげや今も雲井に残る三ヶ月伊予二名集より 福音	盛全
491	37	2	3	福音	天山町天山神社	神獸鏡幻想 天山の四季筑紫から鏡を載せた舟が着く春の天山小野川の岸相聞の歌垣のあと天山の天王が森夏草の原さになな天山の斉庭に山菜川の魚を並べ賑わう新嘗の日太占の鹿の骨やく忌火鑽り鏡を埋めし雪の天山 福音	篠崎勝
492	37	2	4	福音	天山町天山神社	ここにきて軒端に見つる天山の影もかしこし神の香具山 福音	藤原重春
493	37	3	5	福音	北久米町城南高等学校	れうらんのは奈のはるひをふらせる 福音	野村朱鱒洞
494	38	1	1	北久米	三町二丁目桑原公民館三町分館	稲刈能仕事着のまゝ召されしが 北久米	竹村秋晃
495	39	1	1	久米	鷹子町極楽寺	お遍路や極楽浄土疑はず	森白象
496	39	1	2	久米	鷹子町極楽寺	来て見れば密厳浄土極楽寺弥陀の誓いに会える嬉しさ	谷川龍祥
497	39	2	3	久米	鷹子町浄土寺	霜月の空也は骨に生きにける 久米	正岡子規
498	39	2	4	久米	鷹子町浄土寺	お遍路や杖を大師とたのみつゝ 久米	森白象
499	39	2	5	久米	鷹子町浄土寺公園	子遍路の人なつかしきことあはれ 久米	森白象
500	39	3	6	久米	鷹子町鷹ノ子温泉泉源	この里に遍路の寺と温泉と 久米	森白象
501	39	4	7	久米	鷹子町日尾八幡神社	猫柳膝掛けしかと車椅子 久米	岡本ユタカ
502	39	4	8	久米	鷹子町日尾八幡神社	池隈の木下真青や浮寝鳥 久米	岸丹霞
503	39	4	9	久米	鷹子町日尾八幡神社	牧牛の喉立てと鳴く五月かな 久米	熊本美智恵
504	39	4	10	久米	鷹子町日尾八幡神社	椰子の実や遠き戦火の日の記憶 久米	佐々木胡愁
505	39	4	11	久米	鷹子町日尾八幡神社	静寂や月天心の原始林 久米	上田眼月
506	39	4	12	久米	鷹子町日尾八幡神社	五月雨や千年の杉天を突き 久米	水口美智子
507	39	4	13	久米	鷹子町日尾八幡神社	春潮へ艇庫の扉開きけり 久米	菅野孝己
508	39	4	14	久米	鷹子町日尾八幡神社	青き踏むやハイネの詩集ポケットに 久米	東村真子
509	39	4	15	久米	鷹子町日尾八幡神社	師にまみゆごと碑に佇ちぬ秋風裡 久米	中須賀玉翠女
510	39	4	16	久米	鷹子町日尾八幡神社	踏み入るに湧く郷愁や竹落葉 久米	田中佳子
511	39	4	17	久米	鷹子町日尾八幡神社	朽野や四五戸の途絶えた一戸 久米	東東城
512	39	4	18	久米	鷹子町日尾八幡神社	燭ゆらぎ涅槃の嘆きはめきぬ 久米	乃万易子
513	39	4	19	久米	鷹子町日尾八幡神社	読みかけの書に指葉時雨けり 久米	武智君子
514	39	4	20	久米	鷹子町日尾八幡神社	白木蓮の発止と朝日受け止めし 久米	芳野光津江
515	39	4	21	久米	鷹子町日尾八幡神社	日々好日宮の落葉に安らげ里 久米	武智三志
516	40	1	1	窪田	高井町西林寺	秋風や高井のていれぎ三津の鯛 窪田	正岡子規
517	40	2	2	窪田	高井町覚王寺	夜学の子おくりて虫にたゞづめり 窪田	熊惠堂
518	40	3	3	窪田	高井町松山リハビリテーション病院	大空や映ゆる紅葉の銀杏可奈	桑原寛一
519	41	1	1	小野	平井町伊予鉄平井駅	茸狩や浅き山女連連 小野	正岡子規
520	41	1	2	小野	平井町伊予鉄平井駅	巡礼能夢を冷春や松の露 小野	正岡子規
521	41	2	3	小野	平井町明星院	ほととぎす鳴く山門に着きにけり 小野	波多野二美



522	41	3	4	小野	平井町千福寺	火や鉦遠里小野の虫送嬉しきも故郷なり悲しきも故郷なり悲しきにつけても嬉しきは故郷なり 小野	正岡子規
523	41	4	5	小野	南梅本町梅盛寺跡	梅盛寺を追慕古跡保存を祈里で真心の通う道ありその道は古きえにしにかようみちかも 小野	聖護院門跡大僧正正光
524	41	5	6	小野	南梅本町生目神社	聖火今日日本に燃ゆる子規忌か奈 小野	久保水々
525	41	6	7	小野	北梅本町地藏松大尺寺跡	松三代北向地藏秋涼し 小野	酒井黙禪
526	42	1	1	荇原	浄瑠璃町八坂寺	お遍路の誰もが持てる不仕合 荇原	森白象
527	42	2	2	荇原	東方町市役所荇原支所	久谷村を縁にそむる時をしもたのしみにして杉うゑにけり 荇原	昭和天皇
528	42	3	3	荇原	東方町大蓮寺	山川艸木悉有佛性 荇原	河東碧梧桐
529	42	4	4	荇原	小村町荇原公民館小村分館	松に高くある早春の風を聞く 荇原	森薫花壇
530	43	1	1	坂本	窪野町窪野集会所	旅人のうた登り行く若葉か南 坂本	正岡子規
531	43	2	2	坂本	浄瑠璃町浄瑠璃寺	永き日や衛門三郎浄瑠璃寺 坂本	正岡子規